

アジア・マンスリー

(ASIA MONTHLY)

トピックス

1. 中国の政府債務は日本に次ぐ水準に（三浦 有史）・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 回復期待先行の半導体市場、実態は厳しく（立石 宗一郎）・・・・・・・・・・・・・ 3

各国・地域の経済動向

1. 台 湾 輸出不振が続くも、消費とインバウンドが下支え・・・・・・・・・・・・・ 5
2. マレーシア 景気回復持続も、通貨下落が不安要素・・・・・・・・・・・・・ 6
3. フィリピン 景気回復は継続も、インフレ再燃がリスク・・・・・・・・・・・・・ 7
4. 中 国 経済再開後の回復は息切れ、成長率が急減速・・・・・・・・・・・・・ 8

アジア諸国・地域の主要経済指標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

日本総研・調査部の「経済・政策情報メールマガジン」
「日本総研調査部 Twitter」は下記 url から登録できます
(右の QR コードからもアクセスできます)。
新着レポートの概要のほか、最新の経済指標・イベントなど
に対するコメントや研究員のコラムなどを随時お届け致します。
<https://www.jri.co.jp/company/business/research/mailmagazine/form/>
https://mobile.twitter.com/jri_eco

<メルマガ>



<Twitter>



中国の政府債務は日本に次ぐ水準に

主席研究員 三浦 有史
(hiraiwa.yuji@jri.co.jp)

中国の政府債務残高は、地方融資平台（Local Government Financing Vehicles : LGFV）による隠れ債務の増加により、2027 年に GDP 比 149%と、日本に次ぐ水準となる見込みである。

■LGFV は隠れ債務の元凶

地方政府に代わって都市インフラ整備のための資金調達を担う LGFV は、中国国内でも地方政府の債務統計に反映されない「隠れ債務」を増やす元凶と見なされている。LGFV は「暗黙の政府保証」のもとで、債務を急速に増やしている。国際通貨基金（IMF）は、LGFV を含む中国全体の債務を独自に推計している（下表）。それを整理すると、次のことが指摘できる。

＜IMFによる中国の非金融セクターの債務残高の推計値＞

借入主体	分類	兆元							GDP比（%、%ポイント）						
		2018年	19年	20年	21年	22年	23年	23-18年	2018年	19年	20年	21年	22年	23年	23-18年
非金融セクター債務	a=b+i	227	252	285	315	348	380	153	248	254	278	277	291	306	58
広義の政府債務	b=c+f	74	85	101	115	132	151	77	80	86	98	101	112	121	41
政府債務	c=d+e	33	38	47	53	61	69	36	36	39	45	47	52	55	19
中央政府	d	15	17	21	23	26	29	14	16	17	20	20	22	23	7
地方政府	e	18	21	26	30	35	40	22	20	22	25	27	30	32	12
隠れ債務	f=g+h	41	47	54	62	71	82	41	44	47	53	54	60	66	22
LGFV	g	35	40	45	50	57	66	31	38	40	44	44	48	53	15
政府引導基金	h	6	7	9	12	14	16	10	6	7	9	10	12	13	7
民間セクター債務	i=j+k	153	166	184	199	215	228	75	167	168	180	175	180	184	17
家計	j	48	55	63	71	73	75	27	52	56	62	62	61	61	9
企業	k	105	111	121	128	142	153	48	115	112	118	113	119	123	8

（資料）IMFを基に日本総研作成

（注1）2021年以降は推計値。企業にはLGFVを含まない。小数点以下の四捨五入により、合計は足し上げ値と一致しない。

（注2）LGFVの債務は有利子負債に相当する。

第1は、LGFV が地方政府全体の債務残高を増やす主因となっていることである。2018 年時点で 35 兆元、GDP 比 38%であった LGFV の債務残高は 2023 年に 66 兆元、同 53%と、GDP 比で 15%ポイントの上昇となる見込みである。一方、地方政府債務残高は 18 兆元、GDP 比 20%から、40 兆元、同 32%へと増加するものの、GDP 比で 12%ポイントの上昇にとどまる。LGFV の増加幅は地方政府債務より大きく、LGFV と地方政府債務を合わせた地方政府全体の債務残高は LGFV によって押し上げられたといえる。

第2は、隠れ債務がもはや「隠れ」という形容に相応しくない規模になっていることである。2018 年の隠れ債務は 41 兆元（GDP 比 44%）で、中央政府と地方政府を合わせた政府債務 33 兆元（同 36%）との差は 8 兆元（同 8%ポイント）であったが、隠れ債務の増加ペースが政府債務を上回ったため、2023 年の隠れ債務は 82 兆元（GDP 比 66%）となり、政府債務の 69 兆元（同 55%）との差は 13 兆元（同 11%ポイント）へと、一段と拡大した。

第3は、LGFV が広義の企業債務残高を押し上げていることである。ここでいう広義の企業債務とは、企業債務に LGFV 債務を加えたものを指す。経済主体別にみると、債務残高そのものは企業が最も多い。しかし、2018～23 年の企業債務残高の増加幅は GDP 比でみると 8%ポイント

の上昇にとどまり、LGFV の 15%ポイントを下回る。LGFV は国有企業であるため、このことは国有企業が興隆する一方で、民営企業が衰退する「国進民退」が進んでいることを表している。

■政府債務は 2027 年に日本に次ぐ水準に

LGFV の債務残高の増加は、国際的にみた中国の政府債務の位置づけにも大きな影響を与える。中国の政府債務については、地方政府債務の急拡大が懸念材料であるものの、中央政府の債務増加が抑制的であるため、全体としては深刻な水準にあるとはいえない、とされてきた。IMF の世界経済見通し(2023 年 4 月)によれば、2022 年の中国の政府債務残高は GDP 比 77%と、データの採れる 188 カ国中 57 位で、日本(261%、1 位)、イタリア(145%、5 位)、米国(122%、12 位)、スペイン(112%、18 位)、フランス(111%、19 位)を大きく下回る。

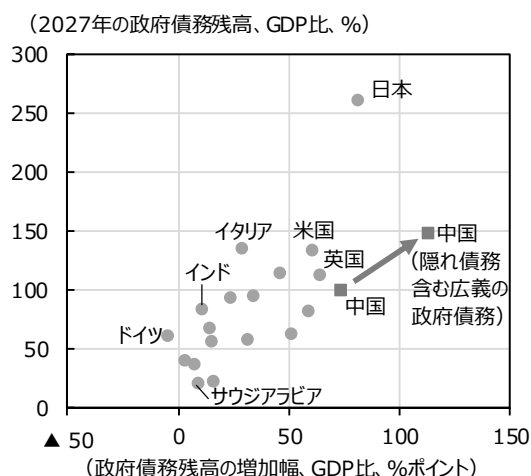
しかし、4 兆元の景気刺激策が実行される前の 2008 年から IMF が予想する 2027 年までの約 20 年間の GDP 比でみた政府債務残高(前頁表の c)の増加幅と、それに伴う 2027 年の国際社会における政府債務残高の位置づけをみると、上述の評価はもはや妥当とは言えない。世界経済に与える影響が大きい G20 を比較対象とすると、中国の政府債務残高の増加幅は 74%ポイントと、日本の 81%ポイントに次ぐ高さで、英国(64%ポイント)、米国(61%ポイント)を上回る。2027 年の政府債務残高は GDP 比 101%と、G20 のなかで 6 位となる(右図)。

ここで示した中国の値は上述した LGFV の債務を含まない。隠れ債務を含む広義の政府債務(前頁表の b)の残高を右図にプロットすると、中国の増加幅は 113%ポイントと日本を上回り、G20 のなかで最大となり、2027 年の政府債務残高も GDP 比 149%と、日本に次ぐ水準となる。潜在成長率の低下に伴い、インフラ投資による景気底上げ効果に対する期待は今後一段と高まることから、隠れ債務が財政の健全性と金融の安定性を脅かす経済成長の重しとなるのは間違いない。

少子高齢化という人口構造の変化によって社会保障関連支出が増えることも、財政圧迫要因となり、中国を図の右上方向にシフトさせると見込まれる。人口高齢化により年金や医療などの支出が増えることから、財政が逼迫の度合いを増すのは明白である。財政部が 2022 年に社会保険基金に交付した補助金は 2.3 兆元である。これは LGFV の債務より規模が小さいものの、10 年間で 4.3 倍と増加ペースが非常に速く、中央政府にとって最大の財政赤字要因になると見込まれる。

中国国内には、隠れ債務をこれ以上増やさないために、政府は LGFV を救済しない、つまり、債務不履行(デフォルト)を容認することで LGFV の財政規律を強化すべきだとする意見がある。しかし、個人消費と輸出が停滞しているため、景気底上げを図る数少ない政策の一つであるインフラ投資を担う LGFV に対する締め付けを強化すると、成長率が一段と低下しかねない。また、デフォルトが財政基盤の弱い地方に次々と伝播し、金融の安定性が損なわれるリスクもある。財政の健全化と経済成長の維持という二律背反の政策課題にどのように対処するのか。習近平政権の経済政策、そして、中国経済の方向性を見極める重要なポイントとなろう。

＜G20の政府債務残高の増加幅と
2027年政府債務残高＞



(資料) IMFを基に日本総研作成

(注) 政府債務の増加幅は、2027年の政府債務(対GDP比)－2008年の政府債務(対GDP比)で算出。

回復期待先行の半導体市場、実態は厳しく

研究員 立石 宗一郎
(tateishi.soichiro@jri.co.jp)

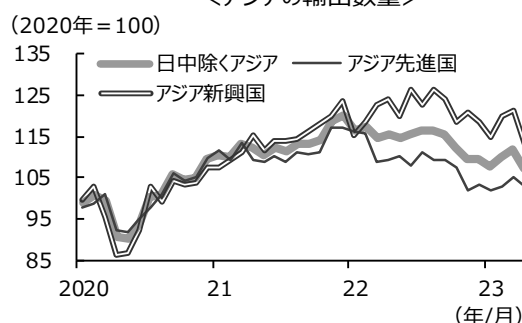
AI 開発への期待から半導体関連の株価が急騰している。もっとも、AI 関連需要だけでは半導体市場の本格回復には力不足であり、当面は低迷が続き、来年以降も緩やかな回復にとどまる見通しである。

■アジアの輸出の重しとなる半導体市場の停滞

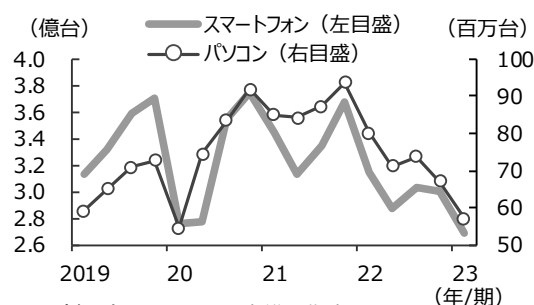
半導体市場の低迷が長引いている。世界の半導体販売額は2023年5月に前年同月比▲23.2%と大幅に減少し、7カ月連続の2桁減となった。半導体はアジア全体の輸出に占める割合が大きいことに加え、様々な製品に利用される部材であることから、その需要動向は地域経済を大きく左右する。半導体不振の影響はアジア全体の生産・輸出に及んでおり、財輸出は2022年から減少基調をたどっている(右上図)。なかでも半導体を主産業とする台湾(輸出全体に占める半導体の割合:38.4%)や韓国(同16.5%)を含む東アジアの輸出が大幅に減少している。

半導体の需給悪化が長引いている要因は、次の2点である。第1に、世界的に巣ごもり需要が終息している点である。2020年に新型コロナが流行したことにより活動制限が強まり、世界的にデジタル化の動きが加速した。在宅での活動が増えたことで、スマートフォン、パソコン、ゲーム機などの通信機器への需要が増加し、半導体の需要増へと波及した。また、テレワークやオンラインショッピングなどの急速な普及で、データセンターなどの大型投資が相次いだことも、半導体需要の押し上げにつながった。ところが、コロナの流行が収まるにつれて活動制限は徐々に緩和され、外食、旅行、娯楽などのサービス消費が復活した。これとは対照的に、デジタル化関連の製品需要は急速に冷え込んだ。スマートフォンやパソコンの出荷台数は2021年1~3月期に前年比で2割以上増加した後、2022年に入ってから落ち込んでいる(右中図)。半導体メーカーは巣ごもり需要に対応して投資を拡大し、生産能力を増強してきたが、需要の急減で目論見は外れ急速に半導体在庫が積み上がった。先端半導体を主に製造する台湾や韓国では、足元にかけて出荷・在庫バランスが大幅に悪化している(右下図)。

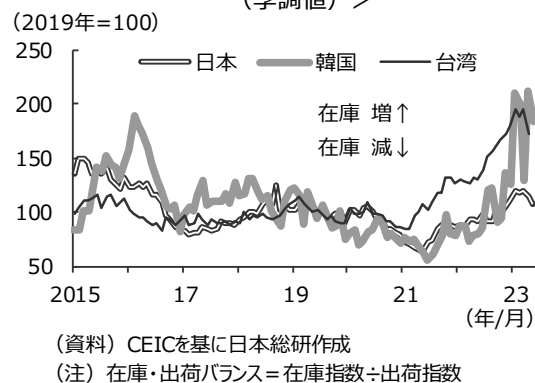
＜アジアの輸出数量＞



＜世界のスマートフォンとパソコンの出荷台数＞



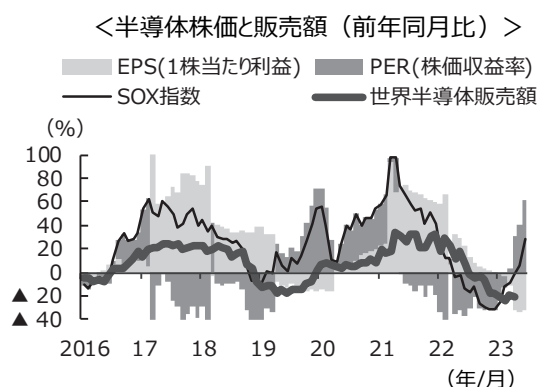
＜半導体等電子部品の在庫・出荷バランス(季調値)＞



第 2 に、米国政府による対中規制の強化も半導体需要の落ち込みにつながっている。米国政府は、2022 年秋に中国に対する半導体への輸出規制を強化し、先端半導体の製造に用いる装置などを中国へ輸出する場合、米国企業は事前に米国政府から許可を得ることが義務付けられた。米国以外の国で生産された製品であっても、米国に由来する技術を使用した製品であれば規制対象に含まれることになり、第三国から中国への輸出も制限される扱いとなった。規制対象は、先端半導体など一部の製品に限定されているが、台湾製や韓国製の製品のなかには規制対象となる製品が多く含まれているとみられ、中国向け出荷の減少につながっていると考えられる。

■高まる半導体需要回復の期待、実現には時間が必要

半導体市場には好不況の波（シリコンサイクル）があり、およそ 3～4 年周期で一巡するとされている。世界の半導体需要は 2021 年末にピークアウトしてから 1 年以上落ち込んだため、ボトムアウトが近いとの見方が多い。さらに、対話型 AI に代表される生成 AI（画像や文章など様々なコンテンツが生成可能な人工知能）の登場をきっかけに、AI 向け半導体需要への期待も急速に高まっている。実際、多くの企業が AI 開発に乗り出していることに加え、幅広い産業で AI を日常業務に活用することが検討され始めている。これを受けて、AI の開発や運用に使用されるサーバーやデータセンターへの投資が拡大し、半導体需要は盛り返すとの期待がある。こうした状況を反映して、米国に上場する半導体関連 30 社で構成されるフィラデルフィア半導体株指数（SOX 指数）は 6 月に前年同月比 3 割高と急騰した。SOX 指数は半導体販売額に先行して動くことが多く、半導体需要の先行指標とされている（右図）。足元の SOX 指数は近いうちに半導体需要の急速な巻き返しを予感させる動きと言える。



(資料) WSTS, Bloomberg L.P. を基に
日本総研作成

もっとも、こうしたシナリオが実現するかどうかは不透明である。最近の SOX 指数の上昇は、市場参加者の成長期待を反映する予想 PER（株価収益率）の上昇を主因としており、企業による収益見込みを反映する予想 EPS（1 株当たり利益）は伸び悩んでいる。株価上昇は市場参加者の楽観的な期待が織り込まれたものであり、半導体関連企業の収益改善見通しが織り込まれているわけではない。さらに、AI 向け半導体の市場規模は全体の数%程度にとどまると見込まれており、半導体市場全体を大きく押し上げるには力不足とみられる。半導体需要の 6 割強のシェアを占めるスマートフォンとパソコンの出荷量は、2023 年通年でそれぞれ前年比▲3.2%、▲14.1%と減少が予想されている（米 IT 調査会社 IDC 調べ）。スマートフォンやパソコンは世界販売額の 4 割強を米国と中国が占めており、両国の景気不透明感が高まるなか、半導体需要の早期回復の確度が高いとは言い難いのが実情である。

このように、AI 向けの投資拡大だけではグローバルな半導体市場の本格的な回復は難しい。主力のスマートフォンやパソコンの需要は緩やかな回復にとどまると予想され、半導体市場が盛り上がるまでにはまだ時間を要すると考えられる。総じてみれば、年内は半導体の在庫調整が続き、増産に転じるのは来年以降と予想される。こうした状況を反映してアジア全体の財輸出も年内は低迷し、来年に入ってから緩やかに回復する見通しである。

台湾 輸出不振が続くも、消費とインバウンドが下支え

■消費・インバウンドが好調

台湾経済は、個人消費とサービス輸出（インバウンド需要）に支えられ好調を維持している。5月の小売売上高指数は前年同月比+15.2%と前月（同+5.6%）から大きく伸びを高めた。台湾政府による市民1人当たり6,000台湾ドルの現金支給が4月から開始され、消費を押し上げている。さらに、7月には省エネ家電製品の買い替え補助について33億台湾ドルの追加予算を決定し、先行きの個人消費の押し上げが期待される。サービス産業を中心に雇用・所得環境が改善していることが、消費の支えとなっている。5月の失業率は3.5%と2000年以降の最低水準へ低下したほか、5月の賃金は前年同月比+2.8%と、20カ月連続で2%超の増加となった（右上図）。

また、台湾への外国人旅行者数は団体旅行客の受け入れを再開した昨年10月以降、増加基調にある。台湾の玄関口である桃園国際空港の1日当たり平均旅客数は5月に8.9万人と、2019年の7割の水準まで回復した。さらに、7月最初の週末には、1日当たりの平均旅客数が12万人に増加しており、夏季休暇期間中に外国人旅行者数が一段と増加すると見込まれる。

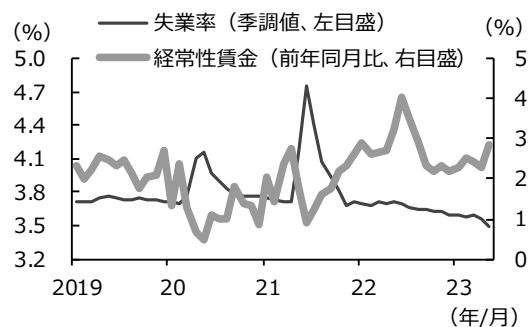
一方、輸出の低迷は続いている。実質輸出は3～5月に増加したが、6月には再び減少に転じた（右下図）。輸出の3割を占める半導体などの電子部品が6月に大幅に減少したことが主因である。中国や米国の財需要の低迷が続く、半導体の在庫調整が長期化していることが下押し材料となっている。米IT調査会社のIDCによると、世界のスマートフォンやパソコンの出荷台数は本年10～12月期から前年同期比プラスに転じると予想されており、半導体関連の輸出は早晩持ち直しに転じるとの期待が高まっている。もっとも、底入れしたとしてもその後の回復ペースは緩やかと見込まれ、消費やインバウンドが景気全体を支える構図は当面続くと予想される。

■総統選では対中スタンスが引き続き争点に

政治面のリスクには注意が必要である。台湾では、2024年1月に総統選が実施される予定であり、頼清徳・副総統（与党民進党）、侯友宜・新北市長（最大野党国民党）、柯文哲・前台北市長（第2野党台湾民衆党）の三つ巴が見込まれる。足元では台湾民衆党の柯氏の支持率が急速に伸びており、6月の世論調査では候補者のなかで最も高い支持を得た。同氏は対中関係には中立とみられていたが、最近、2013年に世論の反発で発効できなかった「海峽兩岸サービス貿易協定」の交渉再開など対中経済関係強化の考えを示した。選挙結果を受けて政治路線が親米・親中どちらかに傾く場合、他方との関係悪化が景気の攪乱材料となる恐れがある。

研究員 立石 宗一郎 (tateishi.soichiro@jri.co.jp)

＜台湾の失業率と賃金＞

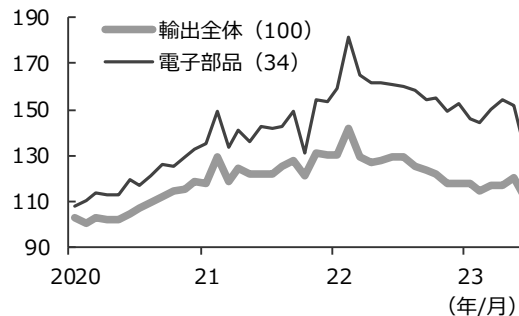


（資料）CEICを基に日本総研作成

（注）経常性賃金とは、基本給に手当を加えたもので、残業代や賞与は含まない。

＜台湾の実質輸出＞

(2019年=100)



（資料）CEICを基に日本総研作成

（注）春節要因調整を含む季調値。括弧内は2019年の輸出全体に占めるシェア。

マレーシア 景気回復持続も、通貨下落が不安要素

■消費・インバウンドが支えとなり回復継続

マレーシア経済は、消費やインバウンド需要がけん引役となって景気回復が続いている。5月の流通業売上高（卸売と小売の合計）は前年同月比+4.7%と前月（同+4.8%）並みの高い伸びを維持した（右上図）。背景には良好な雇用環境があり、5月の失業率は3.5%とコロナ流行後で最低水準となった。さらに、海外旅行客の回復も続いている。マレーシア政府系の空港運営会社MAHBの発表によれば、5月の同社が運営する空港の国際線の利用者数は2019年の7割近くまで回復した。外国人訪問者の回復が小売売上高の増加を後押ししている。

一方、財輸出は低迷が続いている。6月のドル建て名目輸出は前年同月比▲18.4%と、4カ月連続で前年割れとなった。6月の製造業PMIは47.7と、10カ月連続で景況感の分岐点となる50を下回るなど、外需の低迷が製造業の生産活動を押し下げている。

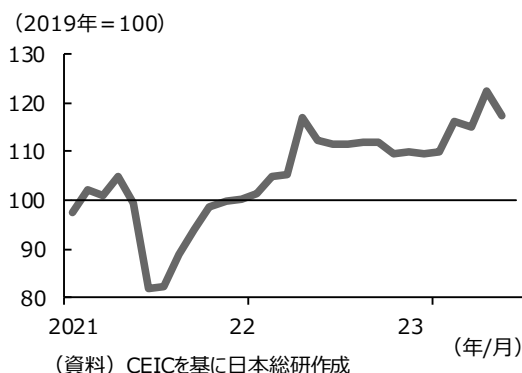
先行きも内需とインバウンド需要にけん引された景気回復が継続する見通しである。政府は7月から下位40%の低所得者向けに総額600リンギの現金給付を開始するなど、消費喚起策を実施している。こうした政策対応による下支えもあり、当面の消費は堅調に推移する見込みである。消費の重しとなっていた高インフレもピークアウトしており、5月の消費者物価は前年同月比+2.8%と2022年8月をピークに9カ月連続で低下している。中央銀行は7月、2会合ぶりに政策金利の据え置きを決定した。当面、利上げは実施されない可能性が高く、金利上昇による内需への下押し圧力も緩和が見込まれる。加えて外国人観光客の増加によるインバウンド需要によってサービス業の回復が持続すると考えられる。

■通貨安進行が懸念材料

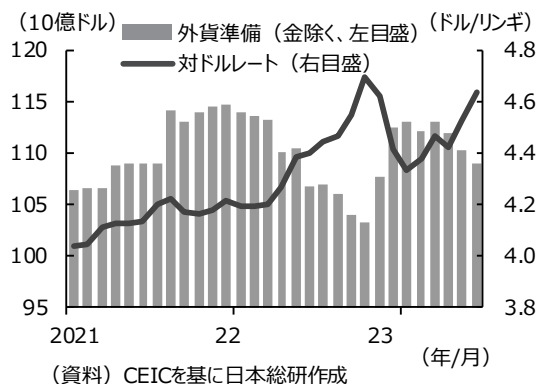
景気のリスク要因として、通貨リンギの急速な減価には注意が必要である。米国金利の引き上げ継続観測や、マレーシアの主要な貿易相手国である中国の景気減速を受け、足元で対ドルでのリンギ安が進行している（右下図）。6月に中央銀行は過度な為替相場の変動に対して為替介入を行う方針を明らかにしたが、外貨準備には限りがあり、先行き国内の不安定な政治情勢や財政再建の遅れが意識されれば、海外資本の流出によってリンギ安がさらに進む恐れがある。リンギ安の進行は、輸入物価の上昇を通じて国内のインフレ再燃につながる恐れがある。通貨防衛とインフレ対応に迫られる形で、中央銀行が再び利上げを実施することになれば、景気が下振れるリスクがある。

研究員 熊澤 知喜 (kumazawa.tomoki@jri.co.jp)

＜流通業売上高（季調値）＞



＜為替レート・外貨準備＞



フィリピン 景気回復は継続も、インフレ再燃がリスク

■消費・インバウンドをけん引役に景気回復が持続

フィリピンでは、内需主導で景気回復が続いている。個人消費が好調であり、6月の新車販売台数は前年同月比+27.0%と、16カ月連続で前年を上回っている（右上図）。この背景には雇用所得環境の改善が挙げられる。雇用者数はサービス業を中心に増加しており、5月の失業率は4.3%と前月から低下した。さらに、家計にとって主要な所得源の一つである在外フィリピン人からの送金（ペソ建て受取額）も、5月に前年同月比+9.4%と27カ月連続で増加している。今後数カ月のうちに入国時に求められているワクチン接種証明書の登録が不要となる見込みであり、外国人観光客の一段の増加が期待され、インバウンド需要回復が景気を押し上げると考えられる。

製造業の生産活動は引き続き低調である。6月の製造業PMIは50.9と、5月（52.2）から大きく低下した。5月の名目輸出（ドルベース）は前年同月比+1.9%と、6カ月ぶりのプラスとなったが、低い伸びにとどまっている。こうした製造業の不振を、サービス業がカバーする格好で経済回復が続く見通しである。

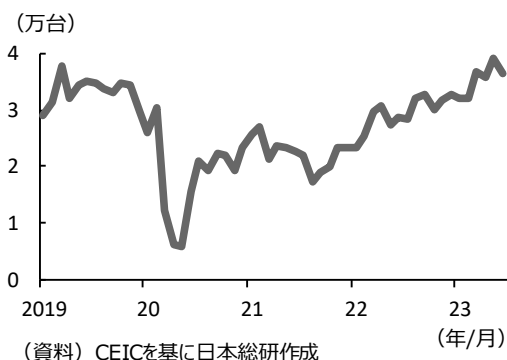
もっとも、インフレの再燃が景気を下押しするリスクには注意を要する。インフレ率は6月に前年同月比+5.4%と5カ月連続で低下したものの、依然として中央銀行の目標値（+2~4%）を超えている（右下図）。世界的に商品市況が安定していることを背景に、運輸関連の価格が下落に転じているものの、食料価格は引き続き上昇しており、インフレ率の下げ渋りを招いている。インフレ率のピークアウトを受けて、フィリピン中央銀行は5月から2会合連続で政策金利を据え置いたものの、異常気象や地政学リスクの高まりなどをきっかけに世界的に食料価格が高騰し、インフレ率が再び高騰する場合、政策金利が再び引き上げられ、投資・消費への下押し圧力が強まる恐れがある。

■政府ファンドの設立法が成立

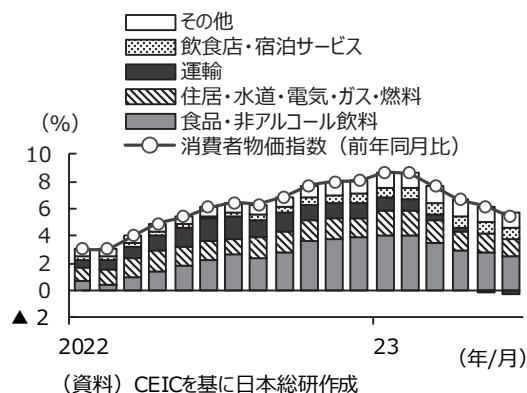
7月、フィリピン初の政府ファンド「マハ rilカ・インベストメント・ファンド（MIF）」の設立法案にマルコス大統領が署名した。資本金として最大5,000億ペソ相当の株式が発行可能であり、設立時には国営銀行2行から750億ペソ、政府から500億ペソの出資を受ける。その後、政府や国営企業、国営銀行から追加の出資を受け、規模を拡大する予定となっている。これらの資金は主にインフラプロジェクトに投資される予定であり、政府の財政出動余力が限られるなかで、民間投資の呼び水となることが期待される。ただし、政府ファンドが汚職の温床となることを懸念する声もあり、効率的な投資の推進役となれるか不透明な面もある。

研究員 熊澤 知喜 (kumazawa.tomoki @jri.co.jp)

＜新車販売台数（季調値）＞



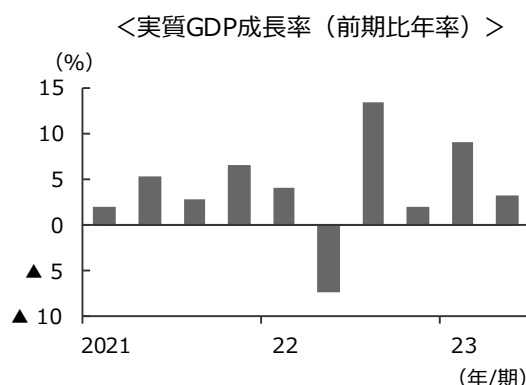
＜消費者物価指数（前年同月比）＞



中国 経済再開後の回復は息切れ、成長率が急減速

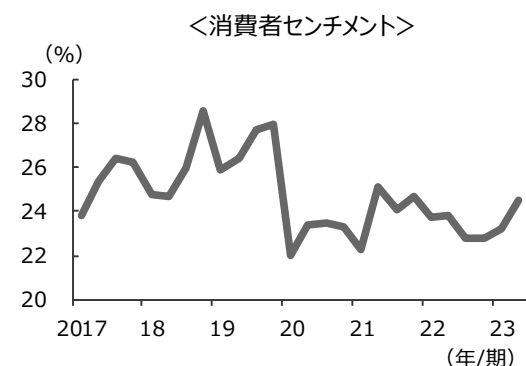
■4～6 月期の経済成長率は前期比年率+3.2%

中国の 4～6 月期実質 GDP 成長率は前期比年率+3.2%と、1～3 月期の同+9.1%から大幅に低下した（右上図）。景気は、ゼロコロナ政策の解除を受けて春先にかけて急速に回復したが、早々に息切れとなった。この背景には、個人消費の停滞と不動産市場の悪化がある。4～6 月期の業種別 GDP を前年同期比でみると、上海ロックダウンの影響で昨年水準が低いことから多くの業種がプラスであったが、なかでも、宿泊・飲食業が+17.5%（1～3 月期+13.6%）と大幅に増加した。一方、卸小売業は+7.6%（同+5.5%）とやや低い伸びにとどまり、財への消費支出はサービスに比べて勢いを欠いている。さらに、不動産業は▲1.2%（前期+1.3%）と減少した。



先行きも不動産市場の悪化が足かせとなり、景気の減速が続くと見込まれる。固定資産投資は、インフラ投資の増加などに支えられ 6 月に前年同月比+3.3%（前月同+2.2%）と伸び率を高めたが、内訳の不動産開発投資は不振が続いている。同月の不動産開発投資は同▲10.2%と引き続き大きく減少している。今後は、地方政府の財政難を背景にインフラ投資の加速が見込めないことから、固定資産投資は再び伸びが低下する可能性が高い。

さらに、消費意欲の停滞も景気の足かせになると見込まれる。中国人民銀行が発表した家計へのアンケート調査によると、4～6 月期に「より消費する」と回答した割合は 24.5%と、2017～19 年の水準（26.2%）を依然として下回っている（右下図）。実際、6 月の小売売上高は前年同月比+3.1%と、5 月（同+12.7%）から大幅に減速した。外食は高い伸びが続いたものの、宝飾品や衣料品などの伸び率低下が全体を押し下げた。また、端午節連休（6 月 22～24 日）の国内旅行収入が新型コロナ前（2019 年）の 95%の水準にとどまるなど、年初の景気回復をけん引した旅行の回復も息切れしている。



外需の低迷も続いている。6 月の輸出は前年同月比▲12.4%と、2 カ月連続の前年割れとなった。世界的に財需要が低迷しており、IT 関連製品（スマートフォン・パソコン）を筆頭に、輸出は当面伸び悩むとみられる。

■政府は依然として景気刺激策に消極的

景気の急減速を受け、政府は今後利下げや地方特別債発行枠の拡大、減税や補助金による消費喚起策などを実施すると予想される。もっとも、政府は依然として大規模な財政拡張には消極的であり、これらの対策が景気押し上げに十分な規模になるかは不透明である。政府が十分な景気対策を打ち出さなければ、2023 年の経済成長率目標（+5.0%前後）の達成も危ういものとなる。

主任研究員 佐野 淳也 (sano.junya@jri.co.jp)

アジア諸国・地域の主要経済指標

1. 経済規模と所得水準 (2022年)

	韓国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	中国	インド	ベトナム
名目GDP (億米ドル)	16,734	7,614	3,599	4,668	4,955	4,072	13,191	4,043	179,806	33,911	4,088
人口 (百万人)	51.6	23.3	7.3	5.6	66.1	32.7	274.9	111.6	1,411.8	1,382.9	99.5
1人当たりGDP (米ドル)	32,407	32,728	49,077	82,807	7,498	12,472	4,799	3,624	12,736	2,452	4,110

(注1) インドの表1～10は年度、表11～13は暦年。

2. 実質GDP成長率 (前年比、前年同期比、%)

	韓国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	中国	インド	ベトナム
2021年	4.3	6.5	6.4	8.9	1.5	3.3	3.7	5.7	8.4	9.1	2.6
2022年	2.6	2.4	-3.5	3.8	2.6	8.7	5.3	7.6	3.0	7.2	8.0
2020年10～12月	-0.7	5.4	-3.5	-0.6	-4.1	-3.2	-2.2	-8.2	6.4	1.6	4.5
2021年1～3月	2.4	9.3	8.2	3.9	-2.5	-0.2	-0.7	-3.8	18.7	3.4	4.9
4～6月	6.4	7.8	7.6	17.3	7.7	16.2	7.1	12.0	8.3	21.6	6.6
7～9月	4.1	4.1	5.5	8.7	-0.2	-4.2	3.5	7.0	5.2	9.1	-6.0
10～12月	4.3	5.2	4.7	6.6	1.9	3.6	5.0	7.9	4.3	5.2	5.2
2022年1～3月	3.1	3.9	-3.9	4.0	2.2	4.8	5.0	8.0	4.8	4.0	5.1
4～6月	2.9	3.0	-1.2	4.5	2.5	8.8	5.5	7.5	0.4	13.1	7.8
7～9月	3.2	3.6	-4.6	4.0	4.6	14.1	5.7	7.7	3.9	6.2	13.7
10～12月	1.4	-0.8	-4.1	2.1	1.4	7.1	5.0	7.1	2.9	4.5	5.9
2023年1～3月	0.9	-2.9	2.7	0.4	2.7	5.6	5.0	6.4	4.5	6.1	3.3
4～6月				0.7					6.3		4.1

3. 製造業生産指数 (前年比、前年同月比、%)

	韓国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	中国	インド	ベトナム
2021年	8.4	15.6	5.5	13.3	5.8	9.5	7.5	49.2	9.6	11.7	6.0
2022年	1.4	-1.8	0.2	2.6	0.4	8.2	1.3	22.5	3.6	0.4	8.0
2021年10月	6.1	13.0		17.1	2.7	8.0	5.2	27.8	3.5	3.3	-1.6
11月	7.3	13.1		14.2	4.5	11.3	7.6	30.0	3.8	0.3	6.4
12月	9.1	9.0	5.7	16.7	6.7	8.4	5.4	19.6	4.3	0.6	10.9
2022年1月	6.4	9.1		1.2	1.9	6.8	1.5	14.3	7.5	1.9	2.8
2月	6.9	9.3		13.9	2.3	5.2	-3.1	77.1	7.5	0.2	10.0
3月	4.7	3.2	-1.3	4.4	0.2	6.9	-0.7	370.1	5.0	1.4	9.6
4月	4.8	4.9		5.4	-0.4	6.2	-1.9	5.0	-2.9	5.6	11.3
5月	8.8	2.4		11.1	-2.3	6.9	-1.8	6.6	0.7	20.7	12.1
6月	3.3	-2.3	2.6	3.3	-0.5	14.4	-1.2	7.8	3.9	12.9	13.1
7月	2.7	-2.3		1.8	6.0	14.9	3.9	12.1	3.8	3.1	12.8
8月	1.6	-1.9		1.0	14.6	15.2	7.4	12.3	4.2	-0.5	16.2
9月	0.0	-8.9	-0.6	1.1	3.0	10.4	4.0	12.6	6.3	2.0	9.6
10月	-2.8	-8.4		-0.6	-4.3	4.2	5.1	14.5	5.0	-5.8	4.4
11月	-5.7	-9.8		-3.7	-5.3	4.8	1.1	13.2	2.2	6.7	4.4
12月	-11.1	-12.2	-0.1	-3.5	-8.5	3.0	1.2	9.9	1.3	3.6	0.6
2023年1月	-14.0	-24.5		-3.0	-4.8	1.3	1.4	15.0	2.4	4.5	-9.1
2月	-8.4	-10.6		-9.6	-2.4	4.8	3.3	9.1	2.4	5.9	3.3
3月	-7.6	-16.9	3.8	-3.7	-3.9	4.1	0.4	6.6	3.9	1.2	-1.7
4月	-9.2	-23.3		-6.5	-8.7	-3.0		10.1	5.6	5.2	0.2
5月	-7.5	-16.4		-10.8	-3.1	5.1		10.3	3.5	5.7	-0.5
6月									4.4		2.9

4. 消費者物価指数 (前年比、前年同月比、%)

	韓国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	中国	インド	ベトナム
2021年	2.5	2.0	1.6	2.3	1.2	2.5	1.6	3.9	0.9	5.5	1.8
2022年	5.1	2.9	1.9	6.1	6.1	3.4	4.2	5.8	2.0	6.7	3.2
2021年10月	3.2	2.5	1.7	3.2	2.4	2.9	1.7	4.0	1.5	4.5	1.8
11月	3.8	2.8	1.8	3.8	2.7	3.3	1.7	3.7	2.3	4.9	2.1
12月	3.7	2.6	2.4	4.0	2.2	3.2	1.9	3.1	1.5	5.7	1.8
2022年1月	3.6	2.8	1.2	4.0	3.2	2.3	2.2	3.0	0.9	6.0	1.9
2月	3.7	2.3	1.6	4.3	5.3	2.2	2.1	3.0	0.9	6.1	1.4
3月	4.1	3.3	1.7	5.4	5.7	2.2	2.6	4.0	1.5	7.0	2.4
4月	4.8	3.4	1.3	5.4	4.6	2.3	3.5	4.9	2.1	7.8	2.6
5月	5.4	3.4	1.2	5.6	7.1	2.8	3.6	5.4	2.1	7.0	2.9
6月	6.0	3.6	1.8	6.7	7.7	3.4	4.3	6.1	2.5	7.0	3.4
7月	6.3	3.4	1.9	7.0	7.6	4.4	4.9	6.4	2.7	6.7	3.1
8月	5.7	2.7	1.9	7.5	7.9	4.7	4.7	6.3	2.5	7.0	2.9
9月	5.6	2.8	4.4	7.5	6.4	4.5	6.0	6.9	2.8	7.4	3.9
10月	5.7	2.7	1.8	6.7	6.0	4.0	5.7	7.7	2.1	6.8	4.3
11月	5.0	2.4	1.8	6.7	5.5	4.0	5.4	8.0	1.6	5.9	4.4
12月	5.0	2.7	2.0	6.5	5.9	3.8	5.5	8.1	1.8	5.7	4.5
2023年1月	5.2	3.1	2.4	6.6	5.0	3.7	5.3	8.7	2.1	6.5	4.9
2月	4.8	2.4	1.7	6.3	3.8	3.7	5.5	8.6	1.0	6.4	4.3
3月	4.2	2.4	1.7	5.5	2.8	3.4	5.0	7.6	0.7	5.7	3.4
4月	3.7	2.3	2.1	5.7	2.7	3.3	4.3	6.6	0.1	4.7	2.8
5月	3.3	2.0	2.0	5.1	0.5	2.8	4.0	6.1	0.2	4.3	2.4
6月	2.7	1.8	1.9		0.2		3.5	5.4	0.0	4.8	2.0

5. 失業率 (%)

	韓国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	中国	インド	ベトナム
2021年	3.7	4.0	5.4	2.7	1.9	4.6	6.5	7.8	5.1	4.2	3.2
2022年	2.9	3.7	4.3	2.1	1.3	3.8	5.9	5.4	5.6	4.1	2.3
2021年10月	2.8	3.8	4.5			4.3		7.4	4.9		
11月	2.6	3.7	4.1			4.3		6.5	5.0		
12月	3.5	3.6	3.8	2.1	1.6	4.2		6.6	5.1		3.6
2022年1月	4.1	3.6	3.6		1.9	4.2		6.4	5.3		
2月	3.4	3.7	4.2		1.4	4.1	5.8	6.4	5.5		
3月	3.0	3.7	5.0	2.0	1.2	4.1		5.8	5.8		2.5
4月	3.0	3.6	5.5		1.3	3.9		5.7	6.1		
5月	3.0	3.7	5.1		1.6	3.9		6.0	5.9		
6月	3.0	3.7	4.8	2.6	1.4	3.8		6.0	5.5		2.3
7月	2.9	3.8	4.5		1.3	3.7		5.2	5.4		
8月	2.1	3.8	4.3		1.2	3.7	5.9	5.3	5.3		
9月	2.4	3.7	4.1	2.0	1.2	3.6		5.0	5.5		2.3
10月	2.4	3.6	3.9		1.4	3.6		4.5	5.5		
11月	2.3	3.6	3.7		1.2	3.6		4.2	5.7		
12月	3.0	3.5	3.3	1.8	1.0	3.6		4.3	5.5		2.3
2023年1月	3.6	3.5	3.1		1.2	3.6		4.8	5.5		
2月	3.1	3.5	3.1		0.9	3.5	5.5	4.8	5.6		
3月	2.9	3.6	3.1	1.6	1.0	3.5		4.7	5.3		2.3
4月	2.8	3.5	3.0		1.0	3.5		4.5	5.2		
5月	2.7	3.5	3.0		1.3	3.5		4.3	5.2		
6月	2.7		3.0						5.2		2.3

6. 輸出 (通関ベース、100万米ドル、%)

	韓国	前年比	台湾	前年比	香港	前年比	シンガポール	前年比	タイ	前年比
2021年	644,400	25.7	446,371	29.3	639,089	26.0	456,800	22.1	272,006	17.4
2022年	683,585	6.1	479,442	7.4	579,779	-9.3	514,863	12.7	287,068	5.5
2021年10月	55,660	24.2	40,117	24.5	53,768	20.9	39,712	22.5	22,776	17.5
11月	60,331	31.9	41,569	30.2	60,904	24.4	41,807	30.1	23,723	25.1
12月	60,734	18.3	40,685	23.3	62,766	24.1	43,431	25.1	25,419	26.6
2022年1月	55,455	15.5	39,981	16.7	58,979	17.9	40,614	19.7	21,211	7.3
2月	54,156	21.1	37,453	34.8	40,234	0.3	38,615	20.3	23,490	16.3
3月	63,787	18.8	43,494	21.2	47,651	-9.6	46,472	12.5	28,859	19.5
4月	57,843	12.9	41,460	18.8	49,609	0.1	44,091	16.3	23,515	9.9
5月	61,591	21.4	42,044	12.4	49,450	-2.5	43,277	21.5	25,506	10.5
6月	57,680	5.3	42,184	15.1	48,510	-7.4	46,364	24.6	26,508	11.7
7月	60,242	8.6	43,227	13.9	48,368	-9.9	45,955	25.0	23,629	4.3
8月	56,606	6.5	40,300	1.9	47,393	-14.9	45,783	19.2	23,633	7.5
9月	57,176	2.3	37,518	-5.3	51,169	-9.9	44,193	14.5	24,919	7.8
10月	52,428	-5.8	39,919	-0.5	47,728	-11.2	39,767	0.1	21,772	-4.4
11月	51,772	-14.2	36,117	-13.1	45,978	-24.5	39,045	-6.6	22,308	-6.0
12月	54,849	-9.7	35,746	-12.1	44,710	-28.8	40,687	-6.3	21,719	-14.6
2023年1月	46,376	-16.4	31,504	-21.2	37,203	-36.9	37,399	-7.9	20,250	-4.5
2月	50,009	-7.7	31,040	-17.1	36,473	-9.3	37,750	-2.2	22,376	-4.7
3月	54,949	-13.9	35,179	-19.1	46,780	-1.8	44,068	-5.2	27,654	-4.2
4月	49,485	-14.4	35,936	-13.3	43,102	-13.1	37,024	-16.0	21,723	-7.6
5月	52,130	-15.4	36,105	-14.1	41,795	-15.5	37,888	-12.5	24,341	-4.6
6月	54,231	-6.0	32,319	-23.4			39,475	-14.9		

	マレーシア	前年比	インドネシア	前年比	フィリピン	前年比	中国	前年比	インド	前年比	ベトナム	前年比
2021年	299,425	27.5	231,609	41.9	74,693	14.5	3,357,143	29.6	422,004	44.6	336,167	18.9
2022年	352,094	17.6	291,970	26.1	78,978	5.7	3,569,394	6.3	450,959	6.9	371,715	10.6
2021年10月	27,507	25.2	22,091	53.8	6,420	2.1	299,120	26.6	35,728	43.4	28,954	6.4
11月	26,990	31.0	22,845	49.7	6,278	6.7	324,277	21.5	31,795	34.6	31,857	26.3
12月	29,547	25.0	22,358	35.2	6,282	7.3	339,662	20.6	39,270	44.3	34,472	24.7
2022年1月	26,514	19.3	19,174	25.3	6,047	9.0	324,932	23.4	35,233	27.9	31,885	11.7
2月	24,302	11.9	20,473	34.2	6,201	15.7	216,124	5.7	37,154	34.5	23,353	15.2
3月	31,315	22.3	26,497	44.0	7,183	6.0	273,881	13.9	44,574	26.4	34,749	16.9
4月	29,874	16.5	27,322	47.9	6,142	6.2	271,770	3.3	39,699	29.1	33,253	25.0
5月	27,530	23.0	21,510	27.2	6,319	6.3	305,410	16.0	39,004	20.8	30,858	17.8
6月	32,795	28.7	26,141	40.9	6,644	1.0	325,761	16.2	42,280	30.1	33,073	21.5
7月	30,247	30.9	25,563	32.0	6,218	-4.2	329,545	17.2	38,336	7.9	30,747	10.4
8月	31,701	40.2	27,862	29.9	6,430	-1.7	312,300	6.5	37,018	10.9	35,033	28.2
9月	31,729	19.2	24,777	20.2	7,183	7.3	319,627	4.9	35,391	4.7	30,038	10.7
10月	28,108	2.2	24,728	11.9	7,711	20.1	296,275	-1.0	31,602	-11.5	30,510	5.4
11月	28,133	4.2	24,094	5.5	7,100	13.1	292,912	-9.7	34,887	9.7	29,120	-8.6
12月	29,846	1.0	23,828	6.6	5,799	-7.7	300,856	-11.4	38,068	-3.1	29,096	-15.6
2023年1月	26,067	-1.7	22,324	16.4	5,254	-13.1	287,235	-11.6	35,780	1.6	23,611	-26.0
2月	25,731	5.9	21,321	4.1	5,078	-18.1	210,334	-2.7	36,995	-0.4	26,052	11.6
3月	29,048	-7.2	23,416	-11.6	6,531	-9.1	305,038	11.4	41,899	-6.0	29,709	-14.5
4月	23,780	-20.4	19,284	-29.4	4,904	-20.2	291,666	7.3	34,699	-12.6	27,864	-16.2
5月	26,485	-3.8	21,707	0.9	6,441	1.9	283,835	-7.1	35,012	-10.2	28,040	-9.1
6月	26,776	-18.4	20,605	-21.2			285,322	-12.4	32,970	-22.0	29,449	-11.0

7. 輸入（通関ベース、100万米ドル、%）

	韓国	前年比	台湾	前年比	香港	前年比	シンガポール	前年比	タイ	前年比
2021年	615,093	31.5	381,958	33.5	683,227	24.0	406,034	23.4	266,882	29.5
2022年	731,370	18.9	428,010	12.1	629,551	-7.9	475,232	17.0	303,191	13.6
2021年10月	53,848	37.7	34,142	37.7	57,684	17.2	35,497	26.4	22,842	33.1
11月	57,358	43.6	35,798	33.6	62,394	19.4	37,352	30.8	22,401	19.3
12月	61,160	37.0	34,936	28.0	66,966	18.5	39,863	32.3	25,840	36.3
2022年1月	60,607	36.3	35,045	24.4	58,126	9.1	37,046	25.8	23,596	19.6
2月	53,482	26.1	31,675	35.4	44,350	5.5	33,392	17.8	23,235	16.2
3月	63,811	28.3	38,765	20.0	52,415	-6.7	42,753	20.4	26,851	15.6
4月	60,213	18.3	36,653	27.0	54,274	1.2	41,075	21.3	25,026	19.5
5月	63,168	31.8	39,924	27.4	54,123	0.2	41,655	33.3	27,121	23.0
6月	60,150	19.3	37,615	19.2	57,242	-0.6	43,093	27.6	27,681	22.7
7月	65,260	21.6	38,227	19.1	51,878	-10.8	43,736	28.6	27,290	23.9
8月	66,028	28.0	37,305	3.3	49,084	-16.9	42,244	28.0	27,848	21.2
9月	61,013	18.2	32,418	-2.6	56,892	-8.6	39,451	15.6	25,772	15.6
10月	59,167	9.9	36,944	8.2	50,386	-12.7	37,382	5.3	22,369	-2.1
11月	58,848	2.6	32,497	-9.2	49,437	-20.8	36,515	-2.2	23,650	5.6
12月	59,623	-2.5	30,941	-11.4	51,344	-23.3	36,891	-7.5	22,753	-11.9
2023年1月	58,949	-2.7	29,161	-16.8	40,448	-30.4	33,478	-9.6	24,899	5.5
2月	55,337	3.5	28,686	-9.4	42,254	-4.7	32,121	-3.8	23,490	1.1
3月	59,676	-6.5	30,970	-20.1	51,952	-0.9	38,527	-9.9	24,936	-7.1
4月	52,232	-13.3	29,225	-20.3	47,762	-12.0	33,842	-17.6	23,195	-7.3
5月	54,347	-14.0	31,236	-21.8	45,163	-16.6	34,100	-18.1	26,190	-3.4
6月	53,105	-11.7	26,364	-29.9			34,833	-19.2		

	マレーシア	前年比	インドネシア	前年比	フィリピン	前年比	中国	前年比	インド	前年比	ベトナム	前年比
2021年	238,240	24.8	196,190	38.6	116,885	30.1	2,686,731	30.0	613,052	55.4	332,843	26.7
2022年	293,797	23.3	237,447	21.0	137,221	17.4	2,712,788	1.0	714,040	16.5	359,575	8.0
2021年10月	21,120	27.2	16,294	51.1	10,235	22.8	214,714	20.0	53,638	57.4	26,150	7.9
11月	22,370	36.1	19,328	52.6	10,984	36.8	253,012	31.3	53,025	56.8	30,626	24.2
12月	22,071	19.1	21,352	47.9	11,396	37.2	246,454	19.7	60,330	40.5	31,745	13.8
2022年1月	22,160	22.4	18,211	36.6	10,559	25.3	244,387	21.0	52,567	25.1	30,295	13.9
2月	19,728	14.5	16,639	25.4	10,186	26.3	189,276	11.7	55,898	37.2	25,292	21.4
3月	25,065	27.4	21,962	30.8	11,768	23.4	230,503	0.7	63,091	29.0	32,610	13.7
4月	24,397	17.8	19,757	21.9	11,463	29.1	222,830	0.1	58,058	26.1	32,790	17.3
5月	24,608	29.3	18,609	30.7	11,879	30.2	227,863	3.4	61,126	57.4	32,873	15.2
6月	27,526	36.7	21,004	22.0	12,522	26.4	230,359	-0.2	64,350	52.9	32,157	15.6
7月	26,681	34.2	21,345	39.8	12,215	22.3	229,525	1.4	63,771	38.2	30,561	4.3
8月	27,828	58.1	22,151	32.8	12,455	26.4	233,655	-0.5	61,879	37.2	31,119	13.0
9月	24,726	21.7	19,808	22.0	12,012	14.4	236,905	-0.1	63,372	12.6	28,391	4.9
10月	24,176	14.5	19,135	17.4	11,024	7.7	212,753	-0.9	57,910	8.0	27,854	6.5
11月	23,403	4.6	18,962	-1.9	10,818	-1.5	225,915	-10.7	56,951	7.4	28,359	-7.4
12月	23,501	6.5	19,863	-7.0	10,320	-9.4	228,816	-7.2	61,218	1.5	27,274	-14.1
2023年1月	21,872	-1.3	18,443	1.3	10,998	4.2	193,390	-20.9	52,228	-0.6	22,955	-24.2
2月	21,246	7.7	15,919	-4.3	8,984	-11.8	197,311	4.2	53,160	-4.9	23,253	-8.1
3月	23,069	-8.0	20,588	-6.3	11,632	-1.2	226,910	-1.6	60,015	-4.9	28,322	-13.1
4月	20,926	-14.2	15,348	-22.3	9,746	-15.0	204,846	-8.1	50,149	-13.6	25,208	-23.1
5月	23,006	-6.5	21,280	14.3	10,837	-8.8	217,579	-4.5	57,032	-6.7	26,035	-20.8
6月	21,201	-23.0	17,151	-18.3			214,702	-6.8	53,100	-17.5	26,362	-18.0

8. 貿易収支（100万米ドル）

	韓国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	中国	インド	ベトナム
2021年	29,307	64,414	-44,138	50,765	5,124	61,185	35,420	-42,192	670,412	-191,048	3,324
2022年	-47,785	51,432	-49,772	39,631	-16,123	58,297	54,523	-58,244	856,606	-263,081	12,140
2021年10月	1,813	5,975	-3,916	4,216	-66	6,387	5,797	-3,814	84,406	-17,911	2,804
11月	2,973	5,771	-1,490	4,456	1,322	4,620	3,517	-4,706	71,265	-21,230	1,231
12月	-426	5,749	-4,200	3,568	-420	7,476	1,006	-5,114	93,208	-21,060	2,727
2022年1月	-5,151	4,936	853	3,569	-2,385	4,354	963	-4,512	80,545	-17,334	1,591
2月	674	5,778	-4,117	5,224	255	4,575	3,834	-3,984	26,848	-18,744	-1,939
3月	-24	4,729	-4,763	3,719	2,008	6,250	4,535	-4,586	43,378	-18,517	2,139
4月	-2,370	4,807	-4,665	3,017	-1,511	5,478	7,565	-5,321	48,940	-18,358	464
5月	-1,577	2,120	-4,673	1,622	-1,615	2,922	2,901	-5,560	77,548	-22,123	-2,014
6月	-2,470	4,568	-8,732	3,271	-1,173	5,269	5,137	-5,877	95,402	-22,070	916
7月	-5,018	4,999	-3,511	2,218	-3,660	3,567	4,218	-5,997	100,020	-25,436	186
8月	-9,422	2,995	-1,690	3,539	-4,215	3,872	5,712	-6,025	78,646	-24,861	3,914
9月	-3,837	5,099	-5,723	4,743	-853	7,003	4,969	-4,829	82,722	-27,981	1,647
10月	-6,739	2,975	-2,659	2,385	-596	3,931	5,593	-3,313	83,522	-26,309	2,655
11月	-7,076	3,619	-3,459	2,529	-1,342	4,730	5,132	-3,717	66,997	-22,064	761
12月	-4,774	4,805	-6,634	3,795	-1,034	6,345	3,965	-4,521	72,040	-23,150	1,822
2023年1月	-12,573	2,342	-3,244	3,921	-4,650	4,195	3,881	-5,744	93,845	-16,448	656
2月	-5,328	2,354	-5,781	5,629	-1,113	4,485	5,402	-3,905	13,024	-16,165	2,799
3月	-4,727	4,209	-5,172	5,541	2,719	5,979	2,828	-5,101	78,128	-18,116	1,387
4月	-2,747	6,711	-4,659	3,182	-1,472	2,854	3,936	-4,843	86,820	-15,450	2,657
5月	-2,217	4,869	-3,368	3,788	-1,849	3,479	427	-4,396	66,256	-22,020	2,005
6月	1,126	5,955		4,642		5,575	3,455		70,619	-20,130	3,087

9. 経常収支 (100万米ドル)

	韓国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	中国	インド	ベトナム
2021年	85,228	117,970	43,671	76,373	-10,646	14,529	3,511	-5,943	352,886	-38,691	-8,149
2022年	29,831	100,877	37,913	90,239	-17,368	12,525	13,126	-17,832	401,855	-66,984	-1,074
2021年9月	9,510	28,621	12,534	21,007	-635	4,684	5,020	-508	92,305	-9,712	-4,408
10月	7,904				-37			-273			
11月	6,592				75			-1,433			
12月	6,365	32,435	11,796	20,284	-1,718	3,842	1,511	-1,970	128,857	-22,156	3,182
2022年1月	2,244				-2,482			-1,250			
2月	5,867				-864			-780			
3月	6,771	31,203	11,054	25,474	1,260	1,364	551	-2,015	85,330	-13,404	-1,677
4月	130				-1,912			-2,612			
5月	3,796				-2,869			-3,059			
6月	6,064	24,132	4,420	24,477	-3,008	664	3,849	-2,703	73,773	-17,945	-4,963
7月	1,699				-4,080			-2,375			
8月	-2,912				-3,626			-2,552			
9月	2,089	22,124	14,814	23,413	-218	4,234	4,545	-1,047	139,636	-30,885	1,661
10月	1,630				351			625			
11月	-223				-714			-3			
12月	2,677	23,418	7,627	16,956	795	6,018	4,181	-60	103,116	-16,817	3,905
2023年1月	-4,212				-1,978			-2,029			
2月	-518				1,034			-402			
3月	158	19,004	5,263	22,105	4,413	977	2,972	-1,917	81,530	-1,336	5,966
4月	-793				-581						
5月	1,927				-2,766						

10. 外貨準備 (年末値、月末値、金を除く、100万米ドル)

	韓国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	中国	インド	ベトナム
2021年	458,324	548,408	496,745	417,904	231,749	114,641	140,310	99,462	3,250,166	564,758	109,371
2022年	418,369	554,932	423,908	289,484	202,310	112,396	132,644	86,867	3,127,691	533,249	86,540
2021年10月	464,413	546,701	497,908	419,032	232,103	113,974	140,934	98,759	3,217,614	602,125	
11月	459,113	547,332	499,264	412,959	229,091	114,510	141,329	98,720	3,222,386	599,220	
12月	458,324	548,408	496,745	417,904	231,749	114,641	140,310	99,462	3,250,166	594,209	109,371
2022年1月	456,732	548,874	492,420	418,390	228,669	113,858	136,821	98,507	3,221,632	590,860	
2月	456,972	549,994	490,956	426,633	230,076	113,513	136,600	98,216	3,213,827	590,525	
3月	453,016	548,770	481,480	379,666	227,224	113,178	134,265	97,906	3,187,994	564,758	108,240
4月	444,503	545,061	465,576	365,177	213,687	110,047	130,892	96,123	3,119,720	554,566	
5月	442,916	548,854	464,918	345,219	215,577	110,405	130,869	94,620	3,127,780	562,137	
6月	433,484	548,963	447,114	314,370	208,105	106,762	131,792	91,917	3,071,272	548,765	103,262
7月	433,811	547,811	441,718	288,223	206,155	106,914	127,712	91,077	3,104,071	534,612	
8月	431,637	545,482	431,707	289,415	201,590	105,976	127,855	88,909	3,054,881	520,787	
9月	411,972	541,107	419,076	286,067	186,409	104,012	126,554	84,666	3,028,955	495,059	87,584
10月	409,211	542,792	417,060	282,284	189,086	103,164	126,052	85,757	3,052,427	496,526	
11月	411,310	552,201	423,107	291,275	196,815	107,654	129,560	86,163	3,117,488	513,293	
12月	418,369	554,932	423,908	289,484	202,310	112,396	132,644	86,867	3,127,691	521,430	86,540
2023年1月	425,173	557,143	436,420	291,699	210,354	112,906	134,568	90,866	3,184,462	530,579	
2月	420,491	558,372	428,999	294,085	203,089	112,063	135,739	88,885	3,133,153	521,092	
3月	421,275	560,279	430,623	312,897	209,025	113,030	140,200	91,475	3,183,872	533,249	88,212
4月	421,889	561,116	427,277	312,010	207,825	111,962	139,158	91,522	3,204,766	544,512	
5月	416,189	562,868	420,876	325,745	205,376	110,205	134,344	90,381	3,176,508	545,718	
6月	416,659	564,834	417,300	331,188	203,157	109,000	132,670	89,376	3,192,998		

(注2) シンガポールは金を含む。

11. 為替レート (対米ドル、年平均、月中平均)

	韓国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	中国	インド	ベトナム
2021年	1,144.6	27.93	7.7725	1.344	31.98	4.14	14,303	49.28	6.4493	73.94	22,935
2022年	1,291.4	29.80	7.8304	1.379	35.05	4.40	14,848	54.50	6.7340	78.58	23,407
2021年10月	1,182.0	27.93	7.7794	1.351	33.45	4.16	14,177	50.72	6.4119	74.96	22,755
11月	1,184.5	27.81	7.7903	1.357	33.10	4.18	14,274	50.35	6.3898	74.48	22,680
12月	1,184.2	27.75	7.7988	1.363	33.55	4.21	14,313	50.33	6.3693	75.36	22,911
2022年1月	1,196.0	27.67	7.7917	1.351	33.22	4.19	14,339	51.21	6.3554	74.43	22,702
2月	1,198.0	27.87	7.7993	1.347	32.63	4.19	14,353	51.28	6.3394	74.97	22,768
3月	1,220.6	28.44	7.8231	1.359	33.25	4.20	14,347	52.07	6.3453	76.21	22,859
4月	1,237.1	29.14	7.8416	1.367	33.80	4.27	14,386	52.04	6.4392	76.20	22,916
5月	1,266.4	29.58	7.8491	1.382	34.41	4.38	14,581	52.37	6.7125	77.30	23,097
6月	1,278.7	29.63	7.8483	1.385	34.94	4.40	14,699	53.72	6.6982	78.08	23,219
7月	1,307.0	29.87	7.8489	1.395	36.36	4.44	14,976	55.95	6.7347	79.56	23,375
8月	1,321.5	30.10	7.8465	1.384	35.85	4.47	14,834	55.83	6.8012	79.51	23,402
9月	1,396.0	31.26	7.8494	1.414	37.04	4.54	14,991	57.65	7.0219	80.25	23,627
10月	1,426.9	31.96	7.8497	1.424	37.94	4.69	15,435	58.74	7.2141	82.33	24,324
11月	1,355.2	31.41	7.8296	1.386	36.33	4.61	15,646	57.49	7.1714	81.60	24,821
12月	1,294.0	30.66	7.7876	1.352	34.79	4.41	15,592	55.61	6.9752	82.49	23,777
2023年1月	1,243.5	30.42	7.8200	1.325	33.23	4.33	15,242	54.94	6.7882	81.76	23,461
2月	1,278.9	30.19	7.8467	1.332	34.09	4.37	15,151	54.83	6.8424	82.62	23,626
3月	1,305.0	30.56	7.8487	1.341	34.48	4.47	15,269	54.70	6.8941	82.26	23,608
4月	1,322.9	30.57	7.8496	1.332	34.24	4.42	14,857	55.33	6.8886	81.92	23,471
5月	1,328.2	30.73	7.8369	1.340	34.23	4.52	14,823	55.79	7.0011	82.29	23,465
6月	1,295.6	30.84	7.8323	1.346	34.91	4.63	14,939	55.77	7.1623	82.16	23,516

12. 政策金利（年末値、月末値、％）

	韓国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	中国	インド	ベトナム
2021年	1.00	1.13	0.50		0.50	1.75	3.50	2.00	3.80	4.00	4.00
2022年	3.25	1.75	4.75		1.25	2.75	5.50	5.50	3.65	6.25	6.00
2021年10月	0.75	1.13	0.50		0.50	1.75	3.50	2.00	3.85	4.00	4.00
11月	1.00	1.13	0.50		0.50	1.75	3.50	2.00	3.85	4.00	4.00
12月	1.00	1.13	0.50		0.50	1.75	3.50	2.00	3.80	4.00	4.00
2022年1月	1.25	1.13	0.50		0.50	1.75	3.50	2.00	3.70	4.00	4.00
2月	1.25	1.13	0.50		0.50	1.75	3.50	2.00	3.70	4.00	4.00
3月	1.25	1.38	0.75		0.50	1.75	3.50	2.00	3.70	4.00	4.00
4月	1.50	1.38	0.75		0.50	1.75	3.50	2.00	3.70	4.00	4.00
5月	1.75	1.38	1.25		0.50	2.00	3.50	2.25	3.70	4.40	4.00
6月	1.75	1.50	2.00		0.50	2.00	3.50	2.50	3.70	4.90	4.00
7月	2.25	1.50	2.75		0.50	2.25	3.50	3.25	3.70	4.90	4.00
8月	2.50	1.50	2.75		0.75	2.25	3.75	3.75	3.65	5.40	4.00
9月	2.50	1.63	3.50		1.00	2.50	4.25	4.25	3.65	5.90	5.00
10月	3.00	1.63	3.50		1.00	2.50	4.75	4.25	3.65	5.90	6.00
11月	3.25	1.63	4.25		1.00	2.75	5.25	5.00	3.65	5.90	6.00
12月	3.25	1.75	4.75		1.25	2.75	5.50	5.50	3.65	6.25	6.00
2023年1月	3.50	1.75	4.75		1.50	2.75	5.75	5.50	3.65	6.25	6.00
2月	3.50	1.75	5.00		1.50	2.75	5.75	6.00	3.65	6.50	6.00
3月	3.50	1.88	5.25		1.75	2.75	5.75	6.25	3.65	6.50	6.00
4月	3.50	1.88	5.25		1.75	2.75	5.75	6.25	3.65	6.50	5.50
5月	3.50	1.88	5.50		2.00	3.00	5.75	6.25	3.65	6.50	5.00
6月	3.50	1.88	5.50		2.00	3.00	5.75	6.25	3.55	6.50	4.50

13. 株価（年末値、月末値、ポイント）

	韓国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	中国	インド	ベトナム
2021年	2,978	18,219	23,398	3,124	1,658	1,568	6,581	7,123	3,640	58,254	1,498
2022年	2,236	14,138	19,781	3,251	1,669	1,495	6,851	6,566	3,089	60,841	1,007
2021年10月	2,971	16,987	25,377	3,198	1,623	1,562	6,591	7,055	3,547	59,307	1,444
11月	2,839	17,428	23,475	3,041	1,569	1,514	6,534	7,201	3,564	57,065	1,478
12月	2,978	18,219	23,398	3,124	1,658	1,568	6,581	7,123	3,640	58,254	1,498
2022年1月	2,663	17,674	23,802	3,250	1,649	1,512	6,631	7,362	3,361	58,014	1,479
2月	2,699	17,652	22,713	3,242	1,685	1,608	6,888	7,311	3,462	56,247	1,490
3月	2,758	17,693	21,997	3,409	1,695	1,587	7,071	7,203	3,252	58,569	1,492
4月	2,695	16,592	21,089	3,357	1,667	1,600	7,229	6,731	3,047	57,061	1,367
5月	2,686	16,808	21,415	3,232	1,663	1,570	7,149	6,775	3,186	55,566	1,293
6月	2,333	14,826	21,860	3,102	1,568	1,444	6,912	6,155	3,399	53,019	1,198
7月	2,452	15,000	20,157	3,212	1,576	1,492	6,951	6,316	3,253	57,570	1,206
8月	2,472	15,095	19,954	3,222	1,639	1,512	7,179	6,584	3,202	59,537	1,281
9月	2,155	13,425	17,223	3,130	1,590	1,395	7,041	5,741	3,024	57,427	1,132
10月	2,294	12,950	14,687	3,093	1,609	1,460	7,099	6,153	2,893	60,747	1,028
11月	2,473	14,880	18,597	3,290	1,635	1,489	7,081	6,781	3,151	63,100	1,048
12月	2,236	14,138	19,781	3,251	1,669	1,495	6,851	6,566	3,089	60,841	1,007
2023年1月	2,425	15,265	21,842	3,366	1,671	1,486	6,839	6,793	3,256	59,550	1,111
2月	2,413	15,504	19,786	3,263	1,622	1,454	6,843	6,556	3,280	58,962	1,025
3月	2,477	15,868	20,400	3,259	1,609	1,423	6,805	6,500	3,273	58,992	1,065
4月	2,502	15,579	19,895	3,271	1,529	1,416	6,916	6,625	3,323	61,112	1,049
5月	2,577	16,579	18,234	3,159	1,534	1,387	6,633	6,477	3,205	62,622	1,075
6月	2,564	16,916	18,916	3,206	1,503	1,377	6,662	6,468	3,202	64,719	1,120

資料出所一覧

国名	発行機関	資料名	備考	国名	発行機関	資料名	備考
韓国	Bank of Korea IMF	Monthly Statistical Bulletin IFS Bloomberg L.P. CEICデータベース	政策金利：ベースレート 株価：K O S P I 指数	インドネシア	Biro Pusat Statistik Bank Indonesia IMF ISI Emerging Market	Indicatee Ekonomi Laporan Mingguan IFS Bloomberg L.P. CEICデータベース	政策金利：BIレート 株価：ジャカルタ総合指数
台湾	行政院 台湾中央銀行	台湾経済論衡 中華民國統計月報 金融統計月報 Bloomberg L.P. CEICデータベース	政策金利：公定歩合 株価：加権指数	フィリピン	National Statistical Office IMF	各種月次統計 IFS Bloomberg L.P. CEICデータベース	政策金利：翌日物借入金金利 株価：フィリピン総合指数
香港	香港特別行政区政府統計処	香港統計月刊 香港对外贸易 Bloomberg L.P. CEICデータベース	政策金利：基準貸出金利 株価：ハンセン指数	中国	中国国家统计局 中華人民共和國海關總署	中国統計年鑑 中国海關統計 Bloomberg L.P. CEICデータベース	政策金利：最優貸出金利 1年 株価：上海総合指数
シンガポール	Departments of Statistics IMF	Monthly Digest of Statistics IFS Bloomberg L.P. CEICデータベース	政策金利：なし 株価：S T I 指数	インド	Reserve Bank of India CME IMF	RBI Bulletin Monthly Review Bloomberg L.P. CEICデータベース	政策金利：レポレート 株価：S E N S E X 指数
タイ	Bank of Thailand IMF National Statistical Office	Monthly Bulletin IFS Bloomberg L.P. CEICデータベース	政策金利：翌日物レポレート 株価：S E T 指数	ベトナム	統計総局 国家銀行 IMF ISI Emerging Market	各種月次統計 各種月次統計 IFS Bloomberg L.P. CEICデータベース	政策金利：リファイナンスレート 株価：VN指数
マレーシア	Bank Negara Malaysia IMF	Monthly Statistical Bulletin IFS Bloomberg L.P. CEICデータベース	政策金利：オーバーナイト政策金利 株価：FTSE ブルサ・マレーシアKLCI指数				

※主要経済指標は、2023年7月21日時点で入手したデータに基づいて作成。

本誌は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本誌は、作成日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがあります。本資料の情報に基づき起因してご閲覧者様及び第三者に損害が発生したとしても執筆者、執筆にあたっての取材先及び弊社は一切責任を負わないものとします。